



## 止葉展開期追肥、赤かび防除で収量・品質向上！

## 1. 出穂予想(3月21日時点)

10月上・中旬播種 ⇒ 4月16～18日頃  
10月下旬以降播種 ⇒ 4月20～22日頃

※左記より海岸部はやや早く、  
山側は遅くなる。  
※今後の気温により出穂期が  
前後する可能性あり。

## 2. 今後の管理

※昨年産の出穂盛期:4月12日

## (1) 止葉展開期追肥

一発肥料溶出の早まりから、登熟期間の窒素供給不足が懸念されるため、  
細麦粒の発生防止に向け、**出穂10～15日前に追肥を実施する。**



出穂10日前とは、止葉が展開した大麦が  
圃場全体の30～40%を占めた頃です。  
**草丈40cm頃が確認の目安です。**

播種時期	施用目安	肥料銘柄・施肥量(10aあたり)
10月上旬	4月1 ～9日頃	NK17号 : 12kg 硫安 : 10kg (N:2kg)
10月中旬		NK17号 : 6～12kg 硫安 : 5～10kg (N:1～2kg)
10月下旬	4月4～ 12日頃	<葉色が濃い(葉色板5.0以上)場合> 不要 <葉色が薄い(葉色板5.0未満)場合> NK17号 : 6kg 硫安 : 5kg (N:1kg)

※10月上中旬播種でも、葉色が濃い(葉色板5.0以上)場合はN:1kgの施肥とする。  
※止葉の展開状況を確認し、遅れないように実施する。  
施用の遅れは、硝子率多発(品質低下)や効果低減につながる。

## (2) 湿害対策(排水口の点検)

- ・出穂期以降は特に湿害に弱い。
- ・今後は周囲の水田や用水からの漏水が生じやすくなる。

⇒湿害回避と追肥の効果を高めるため、  
排水溝を点検し、圃場内の排水に努める。



### (3) 赤かび病防除 等

出穂後3～5日の穂揃期、その1週間後の2回防除を徹底する。

防除時期 (4/18出穂の場合)	薬剤名	10aあたり 使用量		使用回数
<b>第1回</b> <b>穂揃い期</b> <b>出穂3～5日後</b> (4月21～23日)	トップジンM 粉剤DL	4kg		出穂期以降 は 1回以内
	トップジン Mゾル	薬剤67ml /使用液量100 <sup>リットル</sup> 1,500倍希釈		
		ド ロ ー ン	薬剤100ml /使用液量0.8 <sup>リットル</sup> 8倍希釈	
 <b>第2回</b> <b>1回目の7日後</b> (4月28～30日)	ワークアップ 粉剤DL	3kg		3回以内
	ワークアップ フロアブル	薬剤50ml /使用液量100 <sup>リットル</sup> 2,000倍希釈		
		ド ロ ー ン	薬剤33～80ml /使用液量0.8 <sup>リットル</sup> 10～24倍希釈	

### (4) 大麦ほ場内の周縁部の除草について

薬剤名	対象 雑草	使用時期	10a当たり使用量		使用 回数
			薬量	希釈 水量	
ザクサ液剤	1年生 雑草	収穫7日前まで (雑草生育期)	300～ 500ml	100～ 150 <sup>リットル</sup>	ザクサ液剤・ バスタ液剤 合わせて 3回以内
バスタ液剤					
ラウンドアップ マックスロード		収穫前日まで (雑草生育期)	200～ 500ml	50～ 100 <sup>リットル</sup>	

<1ヶ月予報(3月22日～4月21日) 新潟地方気象台3/20発表 >

天気は数日の周期で変わるでしょう。

○気温 : 平年並み～やや高い      ○降水量: 平年並

○日照時間 : やや多い